

第3次知多市環境基本計画(案)のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和2年12月18日(金)～令和3年1月22日(金)
 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファクシミリ又は電子メール
 3 意見の提出者数 5人(24件)

NO	章	ページ	該当項目の名称	意見	市の考え
1	2	10	2-2 市民・事業者の意識 (3) よい環境の妨げとなっていること	<p>悪臭について、家畜ふん尿の使用を減少させる、または使用しない(肥料の窒素成分などが温室効果ガスを発生させたり、家畜ふん尿からメタンガスが出ると聞きました)</p> <p>もし、牛ふん、鶏ふん堆肥を使用するのであれば、完熟させたものを利用する工夫を積極的に市が率先してやってください(市民に学びの場を設けてください)。半田市岩滑にも臭わない堆肥を作る業者さんがいると聞きました。</p> <p>農業生産者さんは難しいかもしれませんが、一般家庭菜園などであれば、普及しやすいと思います。</p>	<p>本市では、家畜ふん尿、堆肥に関する悪臭苦情は、多くはありません。</p> <p>完熟堆肥の利用推進に関しては、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	2	12	2-2 市民・事業者の意識 (5) 地球温暖化について	<p>アンケートで「原子力発電など二酸化炭素排出の少ないエネルギーの使用を進める」が中学生30.0%と高め割合が気になりました。本当に中学生は原子力発電を望んでいるのでしょうか。</p> <p>二酸化炭素排出を少なくすることと、原子力発電を進めるということはセットなのでしょうか。</p>	<p>二酸化炭素排出を少なくする方法は、原子力発電に限られるものではありません。</p> <p>本計画(案)では、再生可能エネルギーを推進していくこととしています。</p>
3	4	27	4-1-2 みんなが参加できる仕組みづくり	<p>人材登録、登録できる要件、資格は? 「わたしの問題」小さな一歩でも。</p>	<p>要件や求める資格などを特に定めず、環境に関する知識や経験をお持ちの方や、地域の環境活動に取り組まれている方など、市民、企業にかかわらず、幅広く人材を登録し、紹介していくことを考えています。</p>
4	4	30	4-2 基本目標2 地球温暖化対策に向き合い、実践するまち	<p>地球温暖化、地球規模の緊急事態です。後手後手の対応とならないように。</p>	<p>地球温暖化対策は喫緊の課題であり、「基本目標2 地球温暖化対策に向き合い、実践するまち」をめざし、温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーの普及、気候変動への適応を推進していきます。</p>

NO	章	ページ	該当項目の名称	意見	市の考え
5	4	31	4-2 基本目標 2 地球温暖化対策に向 き合い、実践するま ち	目標値を2010年水準から45%削減以上する 必要があります。第5次愛知県環境基本計画(案)に記 載されていますが、「2018年10月に公表された国連気 候変動に関する政府間パネルでは(IPCC)の 「1.5℃報告書」では、地球温暖化を1.5℃に抑 えるには、世界全体の人為起源の二酸化炭素の排出量 が、2030年までに2010年水準から約45%減 少し、2050年前後に正味ゼロを達成する必要があ ると示されています。」とされています。したがって 知多市目標も2030年には半減程度にする必要があ り、26%では少なすぎます。(参考：知多市排出量 2010年 1318、2013年1375千t-co2)	現在の国の地球温暖化対策計画及び第5次愛知県環 境基本計画(案)では、2030年度までに2013年度比 で、26%削減をめざしており、まずは26%削減をめざ すこととしました。 地球温暖化対策をめぐる社会的動向は、脱炭素社会 に向けて大きく舵をきっている最中であり、その動向も 注視しながら、更なる温室効果ガスの削減についても検 討していきます。
6	4	32	4-2-1 低炭素な くらし・基盤づくり	率先導入であり、公共施設の排出量は、2030年 には、2010年対比100%削減を目標にしてはど うですか。	第5次知多市庁内環境保全率先実行計画(2019~ 2030)では、地方公共団体の知多市としての事務事業 から排出される温室効果ガスを、2030年度までに 2013年度比で、40%削減することを目標としていま す。 屋根貸しの太陽光発電の設置なども含め、再生可能エ ネルギーの利用を図っていくとともに、更なる削減に向け た計画の見直しも検討していきます。
7	4	32	4-2-1 低炭素な くらし・基盤づくり	公共施設の屋根貸し等の太陽光発電の設置を推進し てはどうですか。	4-2-2再生可能エネルギーの利用促進の市の役割に 「屋根貸しの太陽光発電の設置なども含め、」という記述 を追加します。
8	4	33	4-2-2 再生可能 エネルギーの利用促 進	知多市の場合、風力や、バイオマスは適していない ので、田、畑と共存する、太陽光の一部を利用する太 陽光発電：ソーラシェアリングの推進が良いように思 います。金利分の支援などにより推進してはどうです か。	ソーラシェアリングについては、農業上の土地利用と の調和を図る必要があることや、地域景観との兼合いな どの課題がありますが、今後の事業検討の参考としま す。

NO	章	ページ	該当項目の名称	意見	市の考え
9	4	40	4-3-1 ごみの減量と資源化の推進	<p>知多市は畑や庭が広いところが多いです。電気を使わないミズコンポストやEM菌を使った生ごみ処理の方法をもっと市から市民へすすめるように啓発するとよいと思います。</p> <p>資源の循環を豊かにするためにパーマカルチャーを学びましょう。</p>	<p>堆肥を活用できる場合は生ごみの堆肥化も含め、様々なごみ減量方法の啓発を推進していきます。</p>
10	4	40	4-3-1 ごみの減量と資源化の推進	<p>4Rについて「過剰包装や使い捨て商品の購入を控える」とありますが、市民の意思に委ねるのではなく、例えば豆や油などの量り売りを始めたり、プラフリーを目指しているお店などに助成金を出したり、市としてアピールしたり何かしら応援することは出来ないでしょうか？ゼロ・ウェスト知多市をもっと押し進めていくことにより個性あるまちとして注目されるかもしれません。</p>	<p>今後の事業検討の参考とします。</p>
11	4	52	4-5-1 大気環境・水環境の保全	<p>知多市の水道水は、長良川の最下流にある河口堰の水100%を飲んでいる。つまり下流の少し汚れた水を飲料水に利用している日本でも大変珍しい地域です。従って、長良川にも農薬が流れていることは報告されています。</p> <p>(「岐阜県河川および地下水におけるネオニコチノイド系農薬の調査」一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター)</p> <p>平成25年に農薬類の大幅な見直しが行われ水道水の「総農薬方式」で規制されていますが、現状はどの農薬が多く、測定値はどうなっていますか。</p>	<p>県水質試験所ホームページで公表されている水質年報によると、農薬類は、国が定める対象農薬リストに掲載されている項目について検査をしています。</p> <p>平成28年度に、長良川取水口の原水において、ピロキロンが検出され、測定値は0.0008mg/l(目標値:0.04mg/l)でした。平成29年度からは、全ての項目の測定値が報告下限値未満であり、目標値は満たしています。</p>
12	4	52	4-5-1 大気環境・水環境の保全	<p>平成10年に長良川河口堰よりの水を知多市水道水として利用していますが、当時農薬の混入についての安全性が検討されていますか。</p>	<p>国が定める項目について原水の水質検査が行われており、安全性が確認されていると認識しています。</p>

NO	章	ページ	該当項目の名称	意見	市の考え
13	4	52	4-5-1 大気環境・水環境の保全	<p>知多市の自殺者（10万人当たり）の推移は、H17：26.4人、H18：9.6人、H20：27.2人、H22：13.0人、H22.4：22.4人、H25：13人となっています。H18、H22、H25年が前後の高い時の半減となっています。これは、国県の自殺者の推移、国（20～25人）、県（18～22人）とも大きく異なり、大変不思議な変化をしています。</p> <p>脳神経科学者である黒田洋一郎氏は、農薬の危険性を訴えていることから、知多浄水場の活性炭使用量を確認したところ、活性炭使用量の多い時期に自殺者が低下することと相関するように考えられます。資料を添付します。（活性炭は、一般に農薬を吸着すると言われています。）</p> <p>これだけの情報では、因果関係は、明確ではないですが、予防原則（予防のための政策的決定）として、一度木曽川水系に切替へ、その間に安全性を検討すべきではと思います。</p>	<p>長良川の水は水道水質に問題なく、湧水にも強い水源であり、木曽川の水に戻すことはできないと認識しています。</p>
14	4	52	4-5-1 大気環境・水環境の保全	<p>岐阜県の長良川の上流から、下流までの農薬などの混入がないように啓発活動は、県任せにするのではなく知多市としても推進してください。</p>	<p>あいち水循環再生基本構想に参加し、安心して利用できるきれいな水の確保に取り組んでいます。</p>
15	4	52	4-5-1 大気環境・水環境の保全	<p>もし、長良川河口堰上流で、農薬などが大量に混入した場合の対策や、マニュアルはありますか。もしないようだと至急作成すべきです。</p>	<p>県営水道では「水質事故及び施設事故に係る危機管理実施要領」や「水安全計画」を定め、水質監視や水質異常発生時の対策を行っていると同っています。</p>
16	4	53	4-5-1 大気環境・水環境の保全	<p>農薬や化学肥料の適正な使用を呼びかけます。の箇所に無肥料、不耕起栽培などを進めることを付け加えていただきたいです。</p>	<p>この項目では、農薬や化学肥料による土壌等の汚染の抑制を目的としたものであり、表現としてはそのままとします。</p>

NO	章	ページ	該当項目の名称	意見	市の考え
17	4	53	4-5-1 大気環境・水環境の保全	野焼きへの苦情が多いとありますが、刈った草を随時焼却場へ持ち込んで焼却するための膨大なエネルギーを考えると安全に配慮しながら各自で焼くことのメリットは、大きいと思います。灰は微生物によって分解され生物多様性の役割を担うのではないのでしょうか。臭いについても意識の問題の部分もあると思うので、野焼きすることのメリットも環境問題と共に発信していくことの必要性を感じます。	野焼きに関しては、土壌改良、病虫害防除、地域景観の整備など様々な側面も持っていますが、周辺生活環境への影響もあり、行政から一律的な方向性を発信していくべきではないと考えています。 実体験の場につきましては、市民農園やワイワイお米つくりランドなど農業体験の機会提供に努めていきます。
18	4	53	4-5-1 大気環境・水環境の保全	野焼き禁止になっていますが、田畑で灰を作るとは農作業するにあたり、必要なことでもあります。そのことについて、住民に知ってもらうこと理解してもらうことをすると、少しは苦情が減るのではないのでしょうか？ 若い人や都市からやってきた人は農作業についての理解が薄いかもしれません。実体験の場を増やしてください。	
19	5	56	5-1 推進体制	「知多市環境審議会」には各主体の代表は、入っているのですか。	市環境審議会の委員には、コミュニティ、商工会、企業の方などに委嘱しています。資料編に審議会委員名簿を掲載します。
20	5	56	5-1 推進体制	地域密着の活動とするため、各コミュニティから1～2名の委員（環境Gメン）を任命されるのが望ましい。“環境社会検定試験（eco検定）”合格者の活用も考えられます。	既に、各コミュニティにおいては環境部会などが組織されており、地域での清掃活動など地域に密着した環境活動に取り組まれています。 また、愛知県知事の任命により3名の方が「環境保全推進委員」として、市内の公害の状況等の監視、環境美化活動や環境学習等を行っています。 市としては、これらの方々をはじめ、市民や企業、団体など様々な主体と連携し、地域に密着した環境活動を進めていきたいと考えています。

NO	章	ページ	該当項目の名称	意見	市の考え
21	-	-	その他	<p>新型コロナウイルスへの対応が言及されていません。十分な配慮、対策が必要です。</p> <p>命（健康）か、経済（生活）か、軸足が問われます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応は、知多市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、全庁的な体制で感染拡大防止などに取り組んでいます。今後も国・県と連携を図り、収束に向けて取り組んでいきます。</p> <p>環境分野においても、新型コロナウイルスを契機とした新たなライフスタイルの転換に対応していくことや、市民生活や経済への影響なども鑑みながら計画を推進していくことが求められると考えます。また、短期的な感染防止の取組だけでなく、長期的には気候変動の影響による感染症のリスク増大も懸念されています。これらの考え方について、「計画策定の背景」の中で記載を追記します。</p>
22	-	-	その他	<p>環境か、街づくりか、区画整理が続けられています。</p>	<p>市街地として整備すべき区域は市街化を促進し、緑地として保全すべき区域では無秩序な市街化を抑制するなど、都市と自然の調和を図り、土地利用の適正な規制・誘導を進めています。</p>
23	-	-	全般	<p>各主体（市・市民・事業者）の役割が、完璧までに網羅されていて、素晴らしい計画（案）と思います。具体的に何を・どのように・推進していくか、実行フォローしていくか、が最も重要であろうと思います。自らの参加は勿論、市としての成果を大いに期待しています。</p>	<p>PDCAサイクルによって、効率的・効果的で適切な進行管理を行います。</p>
24	-	-	全般	<p>草むらや耕作放棄地について、畑に草が生えて木になることも発想の転換で酸素供給場といった考え方をもつのはどうでしょう？草木は二酸化炭素も吸収してくれています。除草剤を使わずに自然農、自然栽培、共生農法など多様な植物が人と共に共存できるような取組に力を入れてください。</p>	<p>二酸化炭素の吸収源として緑地は重要ですが、土地の荒廃は、安全、衛生、景観面などで悪影響を及ぼすこともあり、適切な管理は必要であると考えています。</p> <p>「基本目標4 人と自然が共生し、生物多様性が保全されるまち」をめざし、場所ごとの特徴を活かした取組を進め、市全体における生物多様性の保全と持続可能な利用を図っていきます。</p>